想いでつくる。期待を超える。
大末建設株式会社

2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月５日

上場会社名　大末建設株式会社　　上場取引所 東
コード番号　1814　URL https://www.daisue.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）村尾　和則
問合せ先責任者　（役職名）財務部長　（氏名）柴田　功太郎　TEL　06-6121-7143
半期報告書提出予定日　2026年11月５日
配当支払開始予定日　2026年12月１日
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　有

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	54,452	15.8	4,611	88.8	4,571	83.4	3,100	85.6
2026年３月期中間期	47,022	14.5	2,442	118.5	2,492	118.8	1,670	120.5

（注）包括利益　2027年３月期中間期　3,004百万円　（75.4%）　2026年３月期中間期　1,712百万円　（207.9%）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	301.15	―
2026年３月期中間期	159.86	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	63,052	27,208	43.2
2026年３月期	59,649	25,211	42.3

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　27,208百万円　2026年３月期　25,211百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	87.00	―	96.00	183.00
2027年３月期	―	117.00			
2027年３月期（予想）			―	117.00	234.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,100	△5.2	7,050	7.2	6,940	5.0	4,810	26.6	467.14

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期中間期	10,614,225株	2026年3月期	10,614,225株
②　期末自己株式数	2027年3月期中間期	317,102株	2026年3月期	318,938株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	10,296,766株	2026年3月期中間期	10,452,036株

（注）期末自己株式数には役員報酬ＢＩＰ信託及び株式付与ＥＳＯＰ信託が保有する当社株式を含めております。また、期中平均株式数の算出において、発行株式数から控除する自己株式数には、当該信託が保有する当社株式を含めております。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．２「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
３．補足情報 …… 7
（１）個別受注実績…… 7
（２）個別受注予想…… 7

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における日本経済は、雇用・所得環境が改善され、緩やかな回復が続いております。一方、中東をはじめとする地政学リスクや、米国の関税政策を巡る不確実性に伴う物価変動が景気に与える影響に加え、自然災害の影響についても注視していく必要があります。

当建設業界では、建設資材の価格が依然として高水準で推移するとともに、労働者不足が慢性的な課題となっておりますが、公共投資や民間設備投資などの需要は引き続き堅調に推移しております。

このような情勢のなか、当社グループは、中長期経営計画「Road to 100th anniversary～飛躍への挑戦～」（2024年度～2030年度）の目標達成を目指して営業活動を展開した結果、当社グループの当中間連結会計期間の業績は、受注高は75,607百万円（前年同期比25.0％減）、売上高は54,452百万円（前年同期比15.8％増）、繰越工事高は201,513百万円（前年度末比12.0％増）となりました。利益面につきましては、営業利益は4,611百万円（前年同期比88.8％増）、経常利益は4,571百万円（前年同期比83.4％増）、親会社株主に帰属する中間純利益は3,100百万円（前年同期比85.6％増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、「完成工事未収入金及び契約資産」が増加したことなどにより、前連結会計年度末比3,402百万円増の63,052百万円となりました。

負債合計は、「短期借入金」が増加したことなどにより、前連結会計年度末比1,405百万円増の35,844百万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上などにより、前連結会計年度末比1,996百万円増の27,208百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2026年10月15日に公表したとおりであり、変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	10,776	6,622
完成工事未収入金及び契約資産	39,706	48,448
電子記録債権	1,361	0
販売用不動産	23	23
未成工事支出金	656	680
その他	530	759
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	53,053	56,533
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,409	1,409
その他（純額）	939	915
有形固定資産合計	2,348	2,325
無形固定資産		
ソフトウエア	489	463
その他	23	24
無形固定資産合計	513	487
投資その他の資産		
投資有価証券	1,623	1,680
その他	2,174	2,089
貸倒引当金	△64	△64
投資その他の資産合計	3,733	3,705
固定資産合計	6,596	6,519
資産合計	59,649	63,052
負債の部		
流動負債		
工事未払金	13,480	11,715
電子記録債務	9,019	7,452
短期借入金	100	6,600
１年内返済予定の長期借入金	349	349
未払法人税等	1,386	1,465
未成工事受入金	2,605	1,295
完成工事補償引当金	453	487
賞与引当金	499	518
工事損失引当金	24	18
その他	2,443	1,910
流動負債合計	30,361	31,814
固定負債		
長期借入金	2,304	2,129
退職給付に係る負債	1,544	1,552
繰延税金負債	4	6
株式給付引当金	114	230
その他	109	110
固定負債合計	4,077	4,029
負債合計	34,438	35,844

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,324	4,324
資本剰余金	409	409
利益剰余金	20,643	22,732
自己株式	△824	△820
株主資本合計	24,552	26,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	233	158
退職給付に係る調整累計額	424	402
その他の包括利益累計額合計	658	561
純資産合計	25,211	27,208
負債純資産合計	59,649	63,052

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高		
完成工事高	46,590	54,033
不動産事業等売上高	432	419
売上高合計	47,022	54,452
売上原価		
完成工事原価	41,767	46,978
不動産事業等売上原価	331	326
売上原価合計	42,099	47,305
売上総利益		
完成工事総利益	4,823	7,054
不動産事業等総利益	100	92
売上総利益合計	4,923	7,146
販売費及び一般管理費	2,481	2,535
営業利益	2,442	4,611
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	53	17
為替差益	44	1
その他	14	10
営業外収益合計	114	31
営業外費用		
支払利息	42	58
支払手数料	19	8
その他	1	3
営業外費用合計	63	70
経常利益	2,492	4,571
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除却損	－	0
特別損失合計	－	0
税金等調整前中間純利益	2,492	4,573
法人税、住民税及び事業税	833	1,340
法人税等調整額	△12	132
法人税等合計	821	1,472
中間純利益	1,670	3,100
非支配株主に帰属する中間純利益	－	－
親会社株主に帰属する中間純利益	1,670	3,100

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	1,670	3,100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36	△74
退職給付に係る調整額	4	△22
その他の包括利益合計	41	△96
中間包括利益	1,712	3,004
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,712	3,004
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当中間連結会計期間において該当事項はありません。

３．補足情報

（１）個別受注実績

	受注高	
2027年３月期中間連結会計期間	74,868 百万円	△25.0 %
2026年３月期中間連結会計期間	99,828	118.1

（注）%表示は、前年同期比増減率

（参考）受注実績内訳　（単位：百万円）

区分			前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）	比較増減	増減率
建設事業	建築	官公庁	35　（　0.0 %）	－　（　－ %）	△35	－ %
		民　間	99,793　（　100.0　）	74,625　（　100.0　）	△25,167	△25.2
		計	99,828　（　100.0　）	74,625　（　100.0　）	△25,202	△25.2
	土木	官公庁	－　（　－　）	－　（　－　）	－	－
		民　間	－　（　－　）	243　（　100.0　）	243	－
		計	－　（　－　）	243　（　100.0　）	243	－
	合計	官公庁	35　（　0.0　）	－　（　－　）	△35	－
		民　間	99,793　（　100.0　）	74,868　（　100.0　）	△24,924	△25.0
		計	99,828　（　100.0　）	74,868　（　100.0　）	△24,959	△25.0

（注）（　）内の%表示は、構成比率

（２）個別受注予想

	受注高	
2027年３月期予想	109,300 百万円	△28.5 %
2026年３月期実績	152,882	34.4

（注）%表示は、前年同期比増減率

［個別受注実績及び個別受注予想に関する定性的情報等］

当中間連結会計期間の個別受注実績につきましては、前年同期比25.0%減の74,868百万円となりました。通期の個別受注予想は、前会計年度比28.5%減の109,300百万円を見込んでおります。